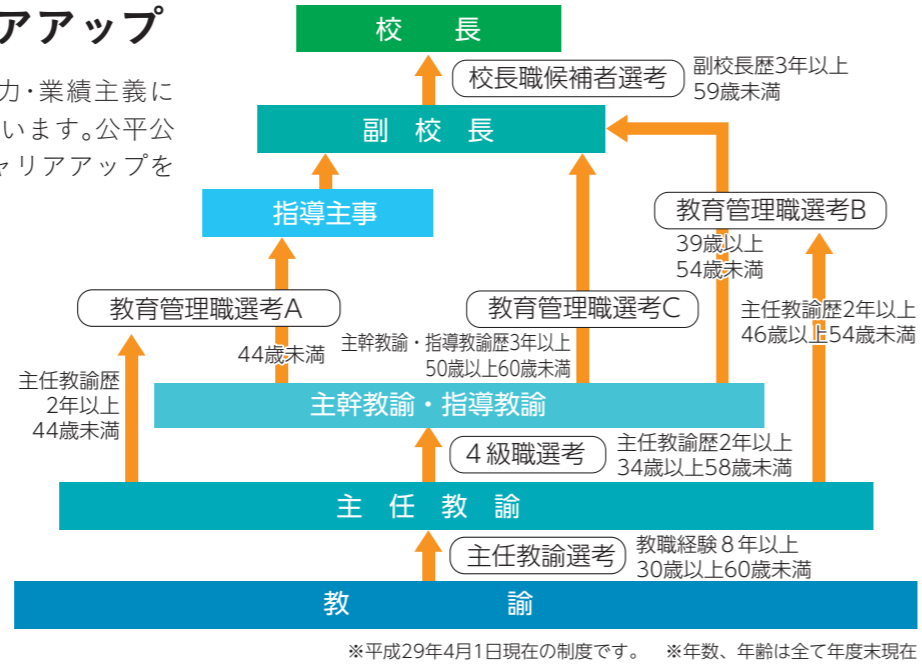


公平・公正な任用制度

任用制度とキャリアアップ

東京都教育委員会では、能力・業績主義に基づく任用制度が整備されています。公平公正な選考によって、多様なキャリアアップを図ることが可能です。



人事異動方針

現任校に3年以上勤務する者を異動の対象とし、勤務年数が6年に達した者は異動することになります。

公募制人事

教員の能力や適性を最大限に活用し、都民の多様な期待に応えていくことを目的として、区市町村教育委員会や都立学校が意欲ある教員を募集し、選考により配置する制度を実施しています。

マイ・キャリア・ノート ◆東京都の先生全員が利用できます

自らのキャリアを主体的に計画するためのシステムです。学校・自宅のパソコン又はスマートフォン等からログインできるので、いつでもどこでも利用できます。

ここがすごい!

- ▶過去の研修履歴が自動表示される
- ▶教員経験年数や教科の専門性等に応じて、システムが研修を紹介してくれる
- ▶自分のニーズに合わせて研修検索、研修申込みが可能
- ▶今後の研修計画や昇任選考等の計画を入力・出力・保存することが可能
- ▶大学院等派遣に関する要綱、各昇任選考要綱、リーフレット等の閲覧が可能
- ▶各研究団体ホームページ等とリンク
- ▶eラーニングの申込み、受講が可能
- ▶研修動画を掲載予定(育児休業中等でも主体的に学ぶことが可能)

画面イメージ



■キャリアアップ例

これまでの経歴

平成9年4月	採用
平成14年	東京学芸大学教育学部附属高等学校派遣
平成15年	異動
平成16年4月 - 平成17年3月	教育研究員
平成18年4月 - 平成20年3月	東京教師道場(部員)
平成20年	主任教諭選考合格
平成22年4月 - 平成24年3月	東京教師道場(助言者(現:リダー))
平成22年	異動
平成24年	主幹教諭選考合格(現:4級職選考)
平成25年	指導教諭任用選考合格

指導教諭とは何ですか

教員として授業を受け持つだけでなく、他の教員に対しても指導、助言を行います。教員全体の学習指導力や専門性の向上を図ることを目的に設けられた職位です。

指導教諭を目指した理由は何ですか

もともと教材研究や授業設計に対する強い関心を持っていました。理科教育の専門性を高める研修などに参加するほか、若い先生方を集めて自ら研究会なども主催していました。年齢的にも、自分がこれまで重ねてきた経験を、より大きな視点で捉え直す時期にあったのかもしれませんが。研修経験や先輩の先生方から教えてもらったノウハウを、多くの教員と共有したいと思いました。同時に、学校経営に直接コミットできることにも魅力を感じました。

指導教諭になる前と比べて何が変わりましたか

交流の幅が広がりました。他校の授業改善に関わったりする中で、学校外での活動が増えました。そのおかげで数多くの先生と知り合うことができました。また、他校の授業を見ていく中で、より客観的に自分の授業を振り返ることもできます。指導力、授業力がともにスキルアップしたようにも感じています。

指導教諭として心がけていることは何ですか

まず何よりも、若い先生には私の授業を見てもらうことだと思っています。私は化学の教員ですから、様々な実験方法を学んでもらい、生徒に伝えるために必要な"引き出し"を増やしてもらいます。

指導教諭



Tanaka Yoshiyasu
田中 義靖 指導教諭
東京都立戸山高等学校
東京都出身

これから教員を目指す方へ

東京都ほど教員の資質向上に必要な研修制度が用意されたところはないと思います。人材が豊富であることも含めて、教員にとっては恵まれた環境が整っています。キャリアアップを望む人のためにも、多くの手段と回路が備わっています。インターネット上には教員一人一人に「マイ・キャリア・ノート」が割り振られ、それぞれの希望や適性に合わせた研修計画を立てることも可能です。意欲さえ持てば必ず応えてくれるのです。

■キャリアアップ例

これまでの経歴

平成9年4月	採用
	校務分掌: 進路指導部 部活動: バドミントン部
平成13年4月	異動
	校務分掌: 生活指導部 部活動: 手話部
平成19年	東京都教育委員会職員表彰(道德教育の推進)
平成20年	主任教諭選考合格
平成20年	文部科学大臣優秀教員表彰(生徒指導)
平成21年	異動
	校務分掌: 生活指導部 部活動: ボランティア部
平成28年	4級職選考合格

教員という仕事の魅力は何ですか

教員は子供の成長に直接関わることができます。そこに一番の魅力を感じます。思い通りにならないことは多いけれど、それは当たり前。教員にできるのは、子供の成長を後押しし、将来に向けた可能性を広げてあげることだと考えています。どんな子供であっても「変わる」力を秘めています。真剣に向き合う中で、ある日突然、その力が花開く。そうした場に立ち会うことができたとき、教員としての幸せを感じます。

主幹教諭の仕事の中身を教えてください

学校経営にとって、潤滑油のような役割を果たします。教員のまとめ役として、管理職との意思の疎通を図ります。また、学校全体で取り組むべき課題を提案するなど、経営そのものにも直接、参画することもあります。

主幹教諭になって、以前と変わったことは何ですか

若い先生から相談を受けることが多くなりました。以前は生徒と向き合うことだけに一生懸命でしたが、いまは先生一人一人と深く関わる機会が増えています。頑張っている先生たちをしっかり支えてあげることも重要な仕事の一つです。

普段から心掛けていることを教えてください

広い視野で学校を捉えることだと思っています。学校はチームプレーで動きます。互いに支えあって前に進むことのできるような雰囲気づくりに努めています。

主幹教諭



Horikoshi Keiko
堀越 啓子 主幹教諭
足立区立栗島中学校
東京都出身

これから教員を目指す方へ

教員に必要なのはテクニックよりも、子供と心を通わせることのできる能力です。学校の中で、子供はいつも教員を見ています。先生次第で子供のモチベーションも上下します。「この先生のために、もっと頑張ろう」。そうした思いが、飛躍につながることもあるのです。学校は出会いの場でもあります。子供だけではなく、保護者、同僚の先生、そして地域の方々とも関わりを持つことで、教員自身も人間としての幅を広げていくのです。



■キャリアアップ例

これまでの経歴

平成 6 年 4 月
採用
平成 10 年 4 月
異動
平成 18 年 4 月
異動
平成 19 年
主幹級職選考合格 (現：4 級職選考)
平成 24 年
教育管理職 B 選考合格
平成 25 年 4 月
文京区教育委員会指導主事
平成 28 年 4 月
副校長

若手の頃は、どんな先生でしたか

中学生の頃に尊敬できる先生と出会いました。全力で、まさに体当たりで生徒の指導に取り組んでいました。その姿に感動したことが教員を目指したきっかけです。だから私も「熱血先生」でした。教員としての力量は未熟でしたが、どんなに困難な問題を抱えた生徒であっても絶対に見放さない、という信念だけは持っていました。

管理職を目指した理由を教えてください

魅力ある管理職の先生たちと接してきました。そうした人たちが背中を押してくださったことが、直接のきっかけです。学校経営という分野で、これまでの経験を生かしてみたいと考えました。

副校長の仕事内容を教えてください

まず、学校経営を円滑に進めることができるように、校長のサポートをすることが求められます。そのためには経営方針を具体化して教員に伝えるだけでなく、教員の声や希望にも耳を傾けます。ときには地域の方々との交流にも参加します。いわば実務の要。副校長は、学校経営のど真ん中にいると思っています。

副校長として心掛けているは何ですか

生徒に対しては学校生活における安全と安心を約束すること。そして教員に対しては、働きやすい職場環境づくりと校務のバックアップをすること。そうしたことに気を配りながら、魅力ある学校づくりを目指しています。

副校長



Yamagishi Ken
山岸 健 副校長
文京区立第一中学校
東京都出身

これから教員を目指す方へ

一つの行事を終えたとき、目標を達成したとき、子供たちと感動を共有できることが教員の醍醐味です。生徒が学校生活を楽しんでいる様子を見ているだけで幸せな気持ちになります。「いまの子供たちは昔とは違う」という見方も世間にはありますが、そんなことはありません。変わったのは大人の価値観だけです。いつの時代も子供は輝いています。子供たちと接する中で、きっと仕事のやりがいを見つかることができます。そんな夢のある仕事を一緒にしましょう。

■キャリアアップ例

これまでの経歴

平成 13 年 4 月
採用
平成 19 年 4 月
異動
平成 21 年
主任教諭選考合格
平成 25 年 4 月～平成 27 年 3 月
上越教育大学大学院派遣
平成 26 年
教育管理職 A 選考合格
平成 27 年 4 月
東京都教育庁人事部選考課 長期社会体験研修生*
平成 28 年 4 月
東京都教育庁指導部 指導企画課 指導主事

*長期社会体験研修…現職の教員を
学校以外の施設等へ概ね 1 か月か
ら 1 年程度派遣して行う研修です。

若手の頃は、どんな先生でしたか

新任時代は指導法に自信を持つことができなかったのですが、先輩の先生たちが辛抱強く、私を指導してくれました。相談を持ち掛けると、まるで家族のように親身になって話を聞いてくれました。いつも誰かに助けられていたような気がします。

管理職を目指した理由は何かですか

経験を積み重ねていく中で、今度は私が若手の先生を育成する立場になったのではないかと考えるようになりました。再勉強の必要を感じて大学院派遣研修を受けたのですが、講義を通して教育行政の役割に興味を持ちました。それがキャリアアップを目指すきっかけとなりました。

指導主事としてどんな仕事をしていますか

東京都の学校全体を対象として、各種事務処理をはじめ、調査や分析、様々な教育事業の推進に関わっています。これまでは主に言語能力向上推進事業を担当してきました。現在は持続可能な社会づくりに向けた教育推進事業に取り組んでいます。

仕事の魅力は何ですか

舞台が広がったような気がします。地域や校種、職層を超えて、様々な立場の先生方と交流する機会が増えたことで、多面的、多角的に教育の課題や在り方を考えることができるようになりました。結果としてそれが、多くの子供たちを支えていることにもなります。そうしたスケールの大きな仕事を任されていることに、やりがいを感じています。

東京都は小学校の児童数だけでも日本全体の 10 分の 1 の数を誇ります。日本の教育をリードしているという自覚を持てることも魅力です。

指導主事



Nishio Eriko
西尾 英里子 指導主事
東京都教育庁指導部指導企画課
東京都出身

これから教員を目指す方へ

誰もが不安を抱えて教員の世界に入ります。私もそうでした。幾度も失敗をしてきましたし、必ずしも平たんな道のりを歩んできたわけではありません。でも、真剣に子供たちと向き合えば、きっと出口が見えてきます。卒業式を迎えるたびに、子供たちと一緒に泣きながら「教員になって良かった」と心から思うのです。東京都には意欲のある教員を後押ししてくれる研修制度も整っています。安心して教員の世界に飛び込んでください。

■キャリアアップ例

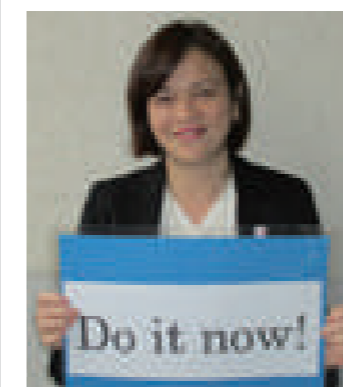
これまでの経歴

昭和 59 年 4 月
採用
平成元年 10 月
学術休職
平成 2 年 4 月
復職
平成 5 年 8 月～平成 6 年 3 月
育児休業取得
平成 6 年 4 月
異動
平成 9 年 1 月～平成 9 年 3 月
育児休業
平成 11 年 4 月～平成 12 年 3 月
教員研究生
平成 15 年
主幹級職選考合格 (現：4 級職選考)
平成 17 年
教育管理職 B 選考合格
平成 18 年 4 月
異動
平成 20 年 1 月
副校長
平成 22 年
校長候補者選考合格
平成 24 年 4 月
校長
平成 27 年 4 月
異動

つながりを経営面にも反映させながら、魅力ある学校づくりに励むのが、校長として最も大事な仕事だと思っています。たとえば前任校は羽田空港に近い小学校だったのですが、「地の利」を生かして、航空会社が主催する新型飛行機お披露目のイベントなどにも、学校ぐるみで参加させていただきました。空港や航空会社の担当者も、学校を代表する立場で相談をもちかけると、丁寧に応対してくれました。同じ地域でともに歩んでいるからこそ、交流も生まれてくるのです。現在の勤務校も、歴史と伝統を感じさせる上野という場所にありまますから、多くの地域イベントに参加できる機会を持っています。これまでも国立西洋美術館の世界文化遺産登録記念イベントや上野動物園の行事などに、子供たちが参加しました。近くにある東京大学の留学生とも、交流しています。地域とのつながりの中で、こうした機会をつくっていくのも校長の仕事です。責任は伴いますが、学校と地域の懸け橋になっているのだという自覚も生まれます。やりがいのある仕事です。

校長として心掛けていること

何よりも児童の安全。つまり危機管理です。児童が楽しく学校生活を送るために大切なことです。



どんなにすばらしい理想や理念を掲げていても、子供たちの安全が損なわれてしまえば意味がありません。事故がないよう、子供が危険なことに巻き込まれることがないように、常に目を配っています。地震や台風などの自然災害に備えて、学校内の見回りも欠かせません。窓の建付けから、階段の手すりのがたつきまで、しっかりチェックします。いかなる状況であっても、子供たちが安心して学校生活を送ることのできる環境づくりに努めています。それもまた、保護者や地域からの信頼に応えるための重要な役割です。

校長



Yoshifuji Reiko
吉藤 玲子 校長
台東区立忍岡小学校
東京都出身

校長の仕事内容について教えてください

校長になってから、地域とのお付き合いが増えました。校長は学校の顔であり、同時に地域を代表する顔の一つにもなるのです。毎日、多くの人との出会いがあります。様々な職業、立場の方とお話できることは私にとって刺激的です。学校という場所から地域を支える、一緒に盛り上げるといったことも考えるようになりました。公立小学校ですから、そうした地域との



これから教員を目指す方へ

若い教員には「決して一人で考え込まないように」と伝えています。本校ではベテラン教員や管理職が、率先して若手に声を掛けていますし、地域のお祭りなどにも一緒に参加するなど、チームワークも万全です。どの学校でもサポート体制は十分にできていますから、安心して学校現場に飛び込んでください。たくさんのお会いと喜びが待っています。人生が広がります。一緒に魅力ある学校を、子供たちを育てていきましょう。